

みずほCustomer Desk Report 2022/06/07 号 (As of 2022/06/06)

市場營業部 為替營業第二子一ム

【昨日の市況概要】

【昨日の市況概要】				公示仲値	130.84
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	130.73	1.0728	140.18	1.2488	0.7201
SYD-NY High	132.01	1.0752	141.12	1.2577	0.7231
SYD-NY Low	130.43	1.0684	139.85	1.2477	0.7187
NY 5:00 PM	131.90	1.0696	141.06	1.2529	0.7194

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	32,915.78	16.08	日本2年債	▲0.0700%	0.0000%
NASDAQ	12,061.37	48.64	日本10年債	0.2400%	0.0100%
S&P	4,121.43	12.89	米国2年債	2.7313%	0.0758%
日経平均	27,915.89	154.32	米国5年債	3.0360%	0.0997%
TOPIX	1,939.11	5.97	米国10年債	3.0381%	0.0985%
シカゴ日経先物	28,025.00	450.00	独10年債	1.3185%	0.0525%
ロンドンFT	7,608.22	75.27	英10年債	2.2420%	0.0940%
DAX	14,653.81	193.72	豪10年債	3.4900%	▲0.0210%
ハンセン指数	21,653.90	571.77	USDJPY 1M Vol	11.08%	1.48%
上海総合	3,236.37	40.91	USDJPY 3M Vol	10.48%	0.94%
NY金	1,843.70	▲ 6.50	USDJPY 6M Vol	10.15%	0.77%
WTI	118.50	▲ 0.37	USDJPY 1M 25RR	0.02%	Yen Put Over
CRB指数	326.82	3.54	EURJPY 3M Vol	10.73%	0.72%
ドルインデックス	102.44	0.30	EURJPY 6M Vol	10.51%	0.57%

東京	東京時間のドル円は、130.73レベルでオープン。仲値にかけて買いが入るも東京時間高値は仲値水準となる130.84。仲値後は上値の重い展開となり130.43まで下落。その後も方向感のない展開となり130.66レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、130.66レベルでオープン。大陸欧州各国が休日の中、ドル円は動意なくほぼ変わらずの130.67レベルでNYに渡った。ポンドは、1.2498レベルでオープン。英休日明けのポンドは堅調。1.2577まで買われ1.2571レベルでNYに渡った。本日、ジョンソン英首相の信任決議が英議会で行われるとのヘッドラインには特段の反応は見られなかった。
ニューヨーク	海外市場のドル円は130円台後半でスタート。流動性が乏しい中、オセアニア時間に130.99をタッチするが、すぐに130.70近辺まで戻す。東京仲値にかけて再び上昇し130.84をつけるが、節目の131円付近では売り意欲もみられる中、上値が重くなり130円台半ばまで反落後、130.67レベルでNYオープン。朝方は主要な米経済指標の発表予定がなく、ヘッドラインも特段見当たらなかったが、米長期金利上昇を受けてドル買いが強まり、131円手前まで上昇。米10年債利回りが3%に迫るとドル円も5月9日以来の131円台回復を果たし、年初来高値の131.35も難なく突破し、131.44をタッチ。その後131.27まで反落するも、すぐに買いは再開し、午後には米株は上げ幅縮小するも円売りが止まる気配はなく、一時132.01をつけ約20年ぶりの高値を更新。終盤にかけて米長期金利が3.04%まで上昇する中、ドル円も特段売られることなく132円手前で底堅く推移し、結局、131.90レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.07台前半でスタート。中国で新型コロナウイルスの規制が解除されたことからの需要増加への期待感を背景にリスクオンムードが広まる中、欧州時間ではリスク志向のドル売りが進行し一時1.0752まで上昇。早朝に反落し、1.0731でNYオープン。朝方は米金利上昇に圧迫されじり安推移となり1.07レベルを割り込む。ユーロ円の上昇に連れ高となり、1.0724まで持ち直す場面もあったが、滞空時間は短く、再び1.07レベルを下抜け。午後は米金利上昇を意識したユーロドルの売りとユーロ円の堅調推移を意識した買いの板挟みで1.0690近辺でもみ合い。結局、1.0696レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなすようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当：多川・西

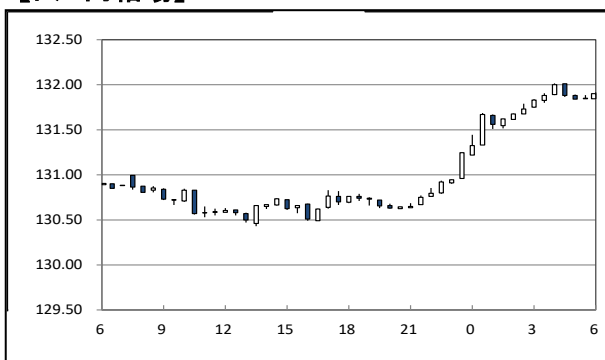
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
なし				

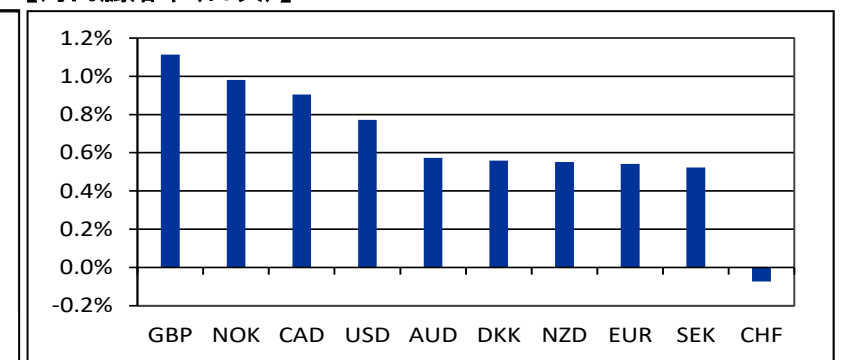
【本日の予定】

Date	Time	Event		予想	前回	
6月7日	13:30	豪	RBAキャッシュレート	6月	0.60%	0.35%
6月7日	14:00	日	景気一致指数・速報	4月	97.4	97.5
6月7日	21:30	米	貿易収支	4月	-\$89.5b	-\$109.8b

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	131.00-132.70	1.0650-1.0750	139.50-142.50

【マーケット・インプレッション】

東京時間ドル円は、130.73レベルでオープン。仲値以降は上値の重く、狭いレンジで推移し、130.66レベルで海外時間へ。主要な米経済指標の発表予定もなかったが、米長期金利上昇と日銀黒田総裁の「揺るぎない姿勢で金融緩和を継続していく」との発言から、日米金利政策差が意識され、2002年4月以来高値となる132.01まで急伸。引けにかけて反落するも、底堅く推移し131.90レベルでクローズ。

本日のドル円は堅調推移を予想。前日のドル買いの流れを受けるとともに、本日発表予定の主要な米経済指標もないことから、日米金利政策差への意識がドル円上昇圧力となる。また、資源高による日本の貿易赤字拡大に対する不安も払拭されておらず、ドル円上昇は今後も継続するだろう。